

乗鞍スカイライン有料道路完成

岐阜県が総事業費16億8000万円を投入して改築中であった県道乗鞍公園線の有料道路化がこのほど完成し、7月1日午前0時から供用開始した。

県道乗鞍公園線は、戦時中旧陸軍が軍事用道路として建設したものであるが、昭和23年に県道に認定され、登山用乗合自動車の運行を開始し現在に至っているものである。本路線は標高1600mから2700mに達する山岳道路で、年々公共事業等によって改良されてきたが、いまだに勾配12%以上の所が多く、幅員は狭少で路面状態も悪く、近年観光需要の増大に伴い交通制限を余儀なくされていたものである。

このため、この路線を有料道路事業によって改築し、快適な走行と交通の安全を確保するとともに観光開発の促進をする目的で進められた事業である。

本事業の概要は次のとおりである。

有料道路名：乗鞍スカイライン有料道路

路線名：県道乗鞍公園線

工事区間：岐阜県大野郡丹生川村大字岩井谷字乗鞍嶽～岐阜県大野郡丹生川村大字久手字小松原

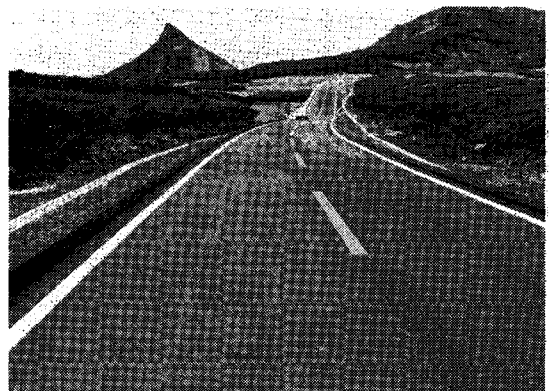
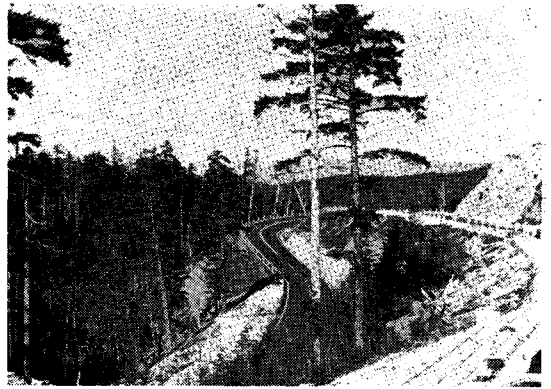
工事概要：延長 14.4km

車道幅員 5.5m

路面 アスファルト コンクリート舗装

工事期間：昭和44年12月15日～昭和48年6月30日

使用開始日：昭和48年7月1日午前0時



完成した乗鞍スカイライン

わが国の造船各社の新造船建造用大型ドック一覧

(40万重量トン以上)

会社名/造船所	ドック寸法(m)	建造最大船型(重量t)
三菱重工/香焼	970×100	1000000
石川島播磨/知多	810×92	1000000
石川島播磨/呉	510×80	800000
石川島播磨/呉	387×85	500000
日立造船/有明	570×85 350×85	800000
三井造船/千葉	410×72 199×72	500000
川崎重工/坂出	380×72	400000
川崎重工/坂出	470×75	700000
日本鋼管/津	500×75	700000
住友重工/追浜	560×85	500000
佐世保重工/佐世保	400×57	400000

注：日立造船有明は現在建造中で、昭和74年中頃に完成の予定。

世界最大級の大型造船所完成

かねてから石川島播磨重工業(株)が建設中であった世界最大級の造船所がこのほど完成、5月25日開所式が行なわれた。

本ドックは、

① 敷地面積：76万6763m²

② ドック寸法：長さ810×幅92×深さ14(m)

③ 建設スケジュール：着工 昭和46年10月、開所 昭和48年5月、完成 同9月

④ 年間建造能力：26万重量トン換算で年間4～5隻である。

なお、わが国の造船各社の新造船建造用大型ドックの現況を参考までに表示した。

土木技術者のための振動便覧 A 5・436頁 2800円

地震応答解析と実例 B 5・458頁 5000円